

衣類修理体験イベント実施結果概要

1. タイトル

リペアしてもっと着よう～ミシンを使わないプチ修理体験～

2. 事業概要

今回初めて実施した事業である。小さな穴や破れがあるため、着用していないお気に入りのウエアを簡単に修理することで、長く着用してもらい衣類のごみ減量につながる。

さっぽろスリムネット 3R パートナーであるパタゴニアと協力し事業を行った。

① リペアテープを使った修理

ナイロン・ポリエステル素材のダウンやウインドブレイカーなどのジャケットの穴や破れに、シンプルな丸型や鳥や海の生き物、道具などのリペアテープを使用し、スタッフのサポートを受けて修理を体験した。

② ジッパープル紐の交換

リュックサックのジッパーを交換体験した。

また、会場には、リペアテープで実際に修理した衣類を展示し、北海道大学 CoSTEP ソーシャルデザイン実習生がパタゴニアに取材し制作した「エシカル×シカケル 4 傷んだ服を自分でなおす」動画を放映した。

3. 開催日…令和5年10月14日(土) 11:00～15:00

4. 参加人数…21人

5. 修理衣類等の重量…7.85 キログラム

6. 参加者の感想等

リペアテープを使って簡単に修理出来ることから参加者からは、「買い替えを検討していたが、今回のイベントで上手に修理が出来たので今後も長く着用し続けたい」「今回のイベントに参加し、リペアテープの存在を知ったので、今後はリペアテープを購入し他の衣類でも試してみたい」「リペアテープを貼ることでオリジナルウエアになり、ますます愛着を持った」等、簡単な修理でお気に入りの衣類がよみがえり、衣類のリペアに関心を持った市民が多かった。

また、当事業を通し、「上の子が通園時に毎日着用し穴のあいたスノーウエアをリペアテープですべて補修できたので、下の子に着せたい」等、今まで捨てようと思っていた衣類が再び着用出来るようになり、衣類のごみ減量にも効果的な「衣類のリペア」を知ってもらうきっかけとなった。



衣類にしわが寄らないようにし、リペアテープ修理の初体験

「どんなリペアテープが良いかな」
穴の大きさとにらめっこ



リペアテープを貼って、穴の補修ができ、オリジナルウェアに大満足な参加者



冬季に通園に毎日着用していたスノースーツ。股の所に穴が空いてしまいました



リペアテープで穴を補修。丸形や動物で素敵に仕上がりました